

## 2016 年度下半期の購買行動

株式会社ショッパーインサイトでは、半年に1回食品スーパーマーケットにおける消費者の購買行動をまとめており、このたび2016年10月～2017年3月の購買行動レポートを発刊しました。今回のコラムでは特に注目される動向をご紹介します。

まず、来店客一人当たりの2016年10月の平均来店回数、来店日数、購買金額、客単価、1回当たり平均購買点数を整理しました（平均購買金額、客単価は税込）。

### グルテンフリーの主な乾燥パスタ

	2016年10月	対前年比
平均来店回数(回)	5.9	99.8%
平均購買金額(円)	12,970.8	101.5%
平均購買点数(点)	62.3	100.5%
平均客単価(円)	2,209.5	101.7%
1回当たり平均購買点数(点)	10.6	100.7%

すると、平均来店回数は前年を下回ったものの、平均購買点数や客単価が上回ったこともあり、平均購買金額も前年を上回りました。

月別の平均購買点数、客単価の推移を見ると、購買点数は前年を下回る月が多くなりましたが、客単価も前年並みや前年を上回りました。商品単価が上がっていることが想定されます。

## 月別購買動向

全体	平均購買点数		平均客単価	
	点	対前年比	円	対前年比
2016年10月	62.3	100.5%	2,209.5	101.7%
2016年11月	59.9	99.4%	2,225.9	100.7%
2016年12月	62.1	99.9%	2,527.1	101.6%
2017年1月	57.7	99.0%	2,279.0	100.5%
2017年2月	57.4	97.3%	2,268.1	100.8%
2017年3月	61.0	98.9%	2,226.7	100.0%

次に、カテゴリー別の上半期の動向を分析し、期間中平均購買金額（一人当たり）が前年よりも10%以上増、購入経験率（期間中来店者のうち購入したことのある人の割合）が前年よりも0.5ポイント増のカテゴリーを抜粋しました。

カット野菜や惣菜など簡易食材や、米国産牛のような価格の安いカテゴリーへの購買が進んだ中で、舞茸、飲料\_他が金額、購入経験率ともに前年を上回りました。

舞茸はテレビで取り上げられる機会が多かったことがプラス要因としてあげられます。飲料\_他は、甘酒、くず湯、しょうが湯などで構成されていますが、近年甘酒への需要が活性を呈しており、2016年上半期に続いて購買金額、購入経験率ともに増加しました。

## 下半期カテゴリ別購買動向（増加率の大きなカテゴリ）

2016年下半期 i-code分類4	期間中平均購買金額		期間中購入経験率(人数)	
	円	対前年比	購入人数割合	対前年比 (ポイント)
舞茸	421.3	113.3%	19.7%	0.5
カット野菜	371.8	128.0%	5.1%	1.5
カット玉葱	443.1	168.7%	1.0%	0.9
米国産牛切り落とし	957.6	116.2%	2.8%	1.0
米国産牛ステーキ・カツ用	1,238.9	118.4%	2.2%	1.0
通常鶏正肉	1,531.7	148.4%	5.0%	2.0
レトルトスナック	500.1	114.1%	3.8%	0.7
ハンバーグ用半惣菜	787.6	111.2%	4.3%	0.6
中華惣菜炒物	710.7	110.1%	10.8%	1.3
惣菜盛合せ_他	842.3	135.6%	3.4%	0.6
飲料_他	743.6	124.5%	11.5%	2.3

一方、期間中平均購買金額（一人当たり）が前年よりも5%以上減、購入経験率（期間中来店者のうち購入したことのある人の割合）が前年よりも0.5ポイント以上減のカテゴリを抜粋しました。魚や食用油があげられます。食用油※2は、2016年上半期に続いて、えごま油やココナッツオイルの需要に落ち着きが見られたことが影響しているようです。グルテンフリーを訴求した主な乾燥パスタは図表1のとおりです。これらを「グルテンフリーパスタ」として分析を行いました。

### 下半期カテゴリ別購買動向（減少率の大きなカテゴリ）

2016年下半期 i-code分類4	期間中平均購買金額		期間中購入経験率(人数)	
	円	対前年比	購入人数割合	対前年比 (ポイント)
バナナ	1,047.8	94.7%	39.5%	-0.6
さば切身	604.4	92.8%	6.1%	-0.8
まぐろ冊	1,282.4	90.6%	8.9%	-0.7
畜産味噌	627.6	89.0%	2.4%	-0.5
食用油	711.9	87.8%	19.0%	-1.8
こま	334.4	94.5%	11.9%	-1.0
カツ用半葱菜	647.6	94.6%	3.4%	-0.6
鍋用セット	873.6	92.4%	5.2%	-0.9

2016年下半期も野菜高騰による影響が出ており、白菜、キャベツなどは1人当たりの平均購買金額は前年を10%以上上回るカテゴリが多いものの、購入経験率は前年を下回るカテゴリが多くなりました。調味料カテゴリ等にも影響を及ぼしているものと推測されます。

2016年下半期 i-code分類4	期間中平均購買金額		期間中購入経験率(人数)	
	円	対前年比	購入人数割合	対前年比 (ポイント)
白菜	498.9	131.0%	36.5%	0.0
キャベツ	583.5	128.0%	37.0%	-0.8
長葱・白葱	602.6	113.2%	32.2%	-1.1
人参	596.8	130.0%	36.1%	-1.9
ごぼう	413.1	107.7%	19.7%	-0.9
じゃが芋	670.4	112.1%	32.1%	-0.5

※1 サラダ油、なたね油、えごま油、ココナッツオイルなどを「食用油」カテゴリーとして集計しています。商品別の細かい動向にご興味がある方はお問い合わせください。